

事業報告書

(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

定款第3条に基づき、補体研究・調査、講演会・ワークショップなどの開催、機関誌・図書の発行などを行った。

I. 学術集会、講演会等の開催

1. 第56回日本補体学会学術集会を埼玉草加病院・大澤勲氏を集会長として、2019年8月23日-24日コンgresスクエア日本橋にて開催。
2. 第57回日本補体学会学術集会を大阪大学微生物病研究所・村上良子氏を集会長として、2020年8月7日-8日に大阪府の千里ライフサイエンスセンターにて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会期を1年延期する事が決定。2021年9月開催予定。
3. 第58回日本補体学会学術集会を酪農学園大学・大谷克城氏を集会長として、2022年開催予定。

II. 学会機関誌その他の刊行物の発行

1. 学会誌「補体」第56巻 第1号を2019年7月26日に発行。
2. 学会誌「補体」第56巻 第2号を2019年12月20日に発行。
3. 医学情報誌シュネラーのFOCUSに、2017年から2018年の8回にわたって掲載された「よみがえる補体科学-最近注目の補体に関わる病気を知る」の連載を一冊にまとめた。

III. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 第56回日本補体学会学術集会において、第56回日本補体学会奨励賞を日下部治郎氏に授与。

IV. 関連学術団体との連絡及び協力

1. 補体関連疾患の診断指針の作成と検査法の推進に向けて、関連学会と協力。

協議中・協議予定の学会

- (1) 日本移植学会・日本臨床移植学会
- (2) 日本腎臓学会
- (3) 日本小児腎臓病学会
- (4) 日本造血細胞移植学会
- (5) 日本妊娠高血圧学会
- (6) 日本免疫不全・自己炎症学会

V. 補体関連疾患の診断指針の作成と検査法向上の推進

1. 研究課題「新しい補体検査システムの構築による補体関連疾患の包括的登録と治療指針確立への展開」を推進。

2. 上記事業として、補体タンパク質検査、補体関連遺伝子検査を推進。補体タンパク質検査項目の新規整備を引き続き検討。特に、現在施行している「10項目の補体検査系」について基準値を策定し、本学会誌に公表（補体、第56巻 第2号、2019）。
3. アレクシオンファーマ合同会社と第二期事業を2020年4月30日終了し、2020年7月1日より第三期事業開始。
4. 補体欠損症が、保険収載補体検査全般の検査体制を充実させるため、CSLベーリング社と第四期事業について、話し合いを持ったが、会社組織の変更にともない、2019年度事業は中止となる、2020年度事業については再度申し入れ。
5. 現在上記事業は一時中止となっているが、「遺伝性血管浮腫」に関する補体タンパク質検査、補体関連遺伝子検査は推進。
6. aHUSに関しての補体関連遺伝子検査（CFH, CFI, CD46, C3, VFB, THBD, DGKE, [CFHR5]）が、保険収載され、かずさDNA研究所にて検査体制が整備され、開始。
7. かずさDNA研究所と日本補体学会は「保険収載されたaHUSの補体遺伝子検査に関するコメント作成」について業務委受託契約を2020年2月26日付けで締結。
8. 「遺伝性血管性浮腫（Hereditary angioedema; HAE）」の Minds準拠診療ガイドライン」の作成が、厚生労働科学研究費補助金、難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）として、成果報告書で報告。公表は、本学会誌「補体」第57巻、第1号、2020年にて発表予定。
9. 原発性免疫不全症の遺伝子検査が保険収載され、かずさDNA研究所にて検査体制が整備され、開始。17. 補体欠損症（panel-1）と 18. 補体欠損症（panel-2/HAEを含む）の2項目が設置。panel-2（*SERPING1*, *F12*, *ANGPT1*, *PLG*, *CD55*, *CD59*）の遺伝子検査において、HAEI-III型の遺伝子検査に対応。遺伝子検査のコメントについては、補体学会が施行。

VI. 国際的な研究協力の推進

1. 2019年9月13日～9月18日、Madridで行われた17th EUROPEAN MEETING ON COMPLEMENT IN HUMAN DISEASE（EMCHD 2019）に参加し、日本補体学会の検査プロジェクト発表及び情報収集。
2. 国際補体学会の外部精度評価（External Quality Assessment 2019）が妥当性評価を行っているEQAの標準化研究に参加し、2019年11月8日付、妥当性評価書(Certificate)を受領。さらに、EQA2020にも参加し、2020年4月3日付、妥当性評価書(Certificate)を受領。

VII. 会議

1. 理事会を2019年7月から2020年6月まで4回開催。

VIII. その他

特になし